2019　年　3月10日

 動物実験計画（変更・追加）承認申請書**(記入例)**

 　動物実験責任者

 　　所属　　　医用動物資源支援部　　　 　　氏名　　　　高林　秀次　　　　印

学 長 殿

承認番号　　2016030　　の動物実験計画を変更・追加したいので浜松医科大学動物実験規程第11条第2項に基づき承認申請いたします。

記

１．変更・追加事項＊

　　　　　（\* 実験内容および責任者の変更は、「計画書」を新たに提出すること。また、遺伝子組換え動物の追加は遺伝子組換え実験安全委員会の承認をえること。）

 １）動物実験実施者の変更・追加：

実験実施者　浜松　花子　を追加

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナはままつ　はなこ | 所属:　医用動物 | 技術補佐員 | ■受講：1099□未受講 |
| 氏名:浜松　花子 |
| 内線:　2219 | ■医学研究者標準コース（AP0006030000）■個別追加コースⅡ（AP0006900001　） |
| e-mail: xxxxxxx@hama-med.ac.jp |
|  |

 ３）実験実施期間の変更：2014年6月～2017年3月から

　　　　　　　　　　　　　　　　2014年6月～2018年3月 に変更いたします。

２．変更・追加等の理由

|  |
| --- |
| 1）実験補助員の退職等に伴う、動物実験実施者の変更のため3）動物実験が予定通り進まなかったため、2018年3月まで期間を延長する。2017年度　神経変性疾患のモデル動物であるKOマウスの表現型の解析　6週齢のKOマウスを10匹および正常コントロールマウス10匹を頚椎脱臼にして安楽死させる。脳を採取し、各５匹はホルマリン固定により切片を作製する（５匹×２群）。各５匹の脳からはタンパクおよびRNAを抽出し、遺伝子の発現をタンパクレベルおよびRNAレベルで確認する（５匹×２群）。苦痛のカテゴリーはC。エンドポイントについてKOマウスは生後4週から神経変性疾患の表現型を呈し、正常マウスに比べて体重減少を起こす。KOマウスの体重減少が20％以上になった場合はエンドポイントとして頚椎脱臼により安楽死させ、実験に用いる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会記入欄 | 審査終了：20　　　　年 　　月　　　日 |
| 修正意見 |
| 審査結果　□本変更・追加は、その理由により妥当である。　　（条件等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□本変更・追加は、その理由が妥当でない。 |
| 学長承認欄 | 承認: 20　　　　年 月 日 |
| 承認番号: 第　　　　　　　号の変更・追加を承認します。　　　　　　　　　　　浜松医科大学長 |